

世界の  
エロ童話

# 裸の女中さま

（国民みんながヤレちゃう聖母）

安  
堂  
流



# 世界のエロ童話 裸の女王さま ～国民みんながヤレちゃう聖母～

---

## 第1話





傷は洗って  
きれいに  
するのよ？

なで  
なで

つひ



大怪我でなくて  
良かったわ

ああ...！  
ありがとう  
ございます...



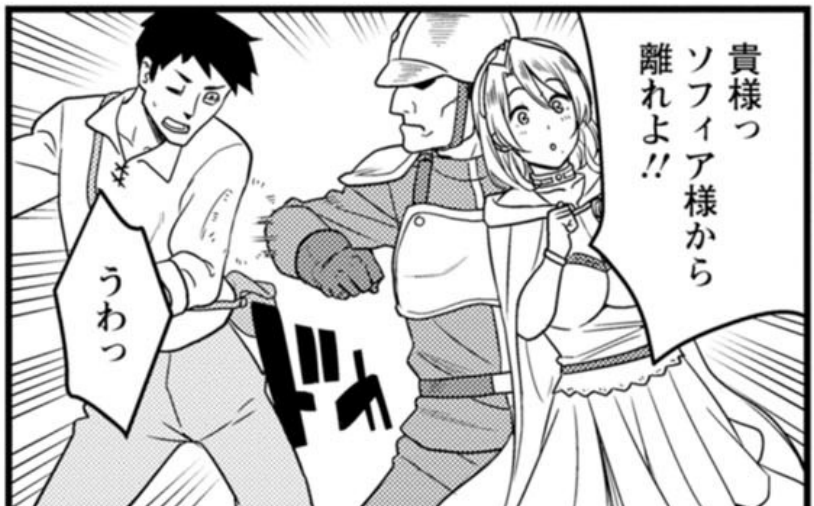
もう大丈夫よ

これを使って



...あ...  
あれ...？

じよ...女王  
さま...？



貴様っ  
ソファイア様から  
離れよ!!

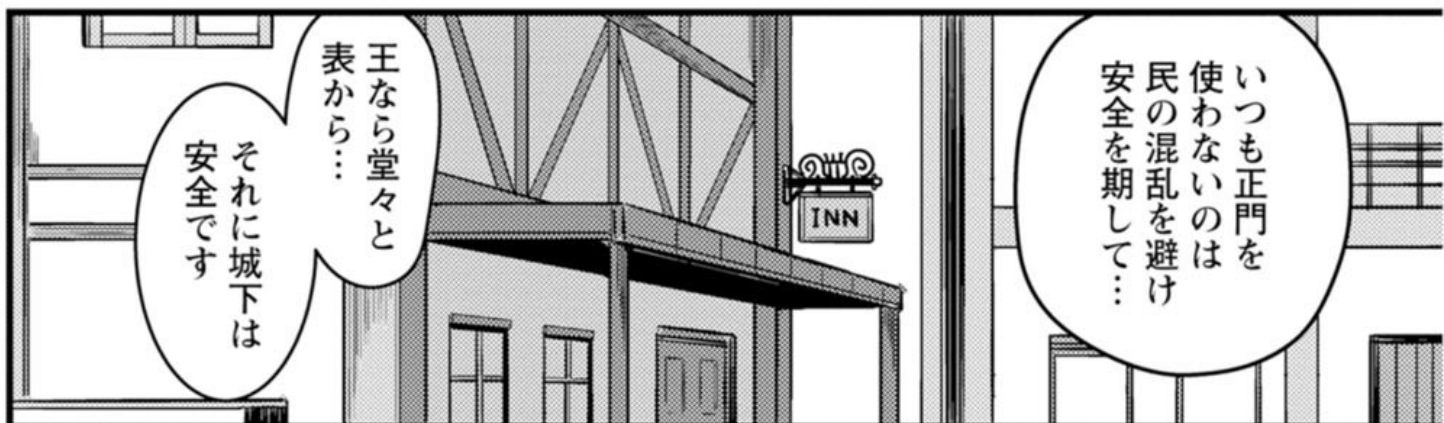
うわっ



ソファイアさま  
ああああッ!!











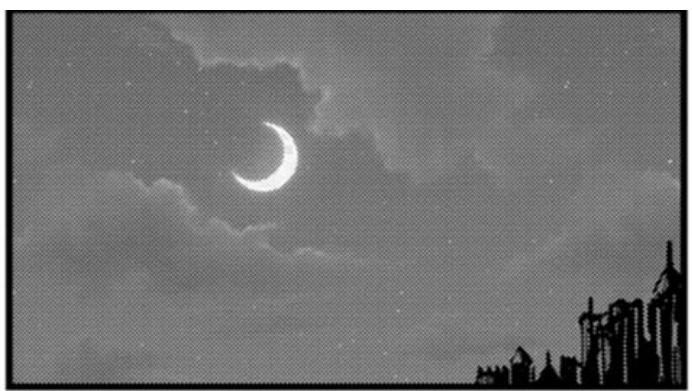












大丈夫ですか？

アンシア：  
心配してくれて  
ありがとう

やっぱりまだ  
バナーレ様：  
その……

薬も試したけど  
ずっとバナーレも  
調子悪くてね……

彼も申し訳なく  
思ってるからか  
ぎくしゃく  
しちやって……

あつ

そういえば  
最近街で  
珍しい布が  
噂になってる  
そうですよ

！  
詳しく！

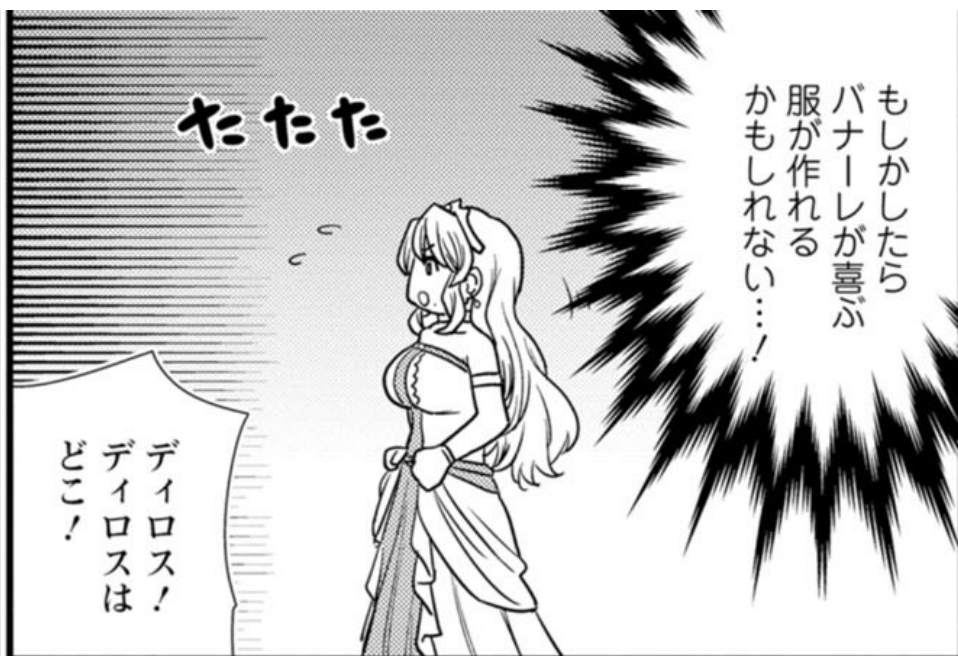
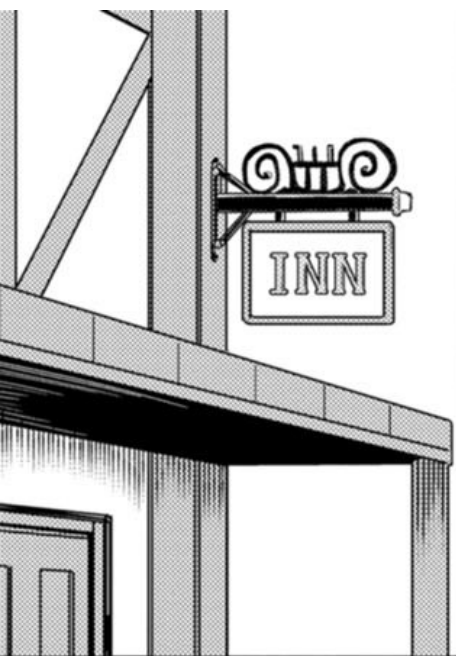
誰も見たことが  
ないくらい  
美しいとか

これでバナーレ様も  
メロメロになるかも  
しれませんよ！

その者を  
呼びましょう！

服を作って  
もらいます！





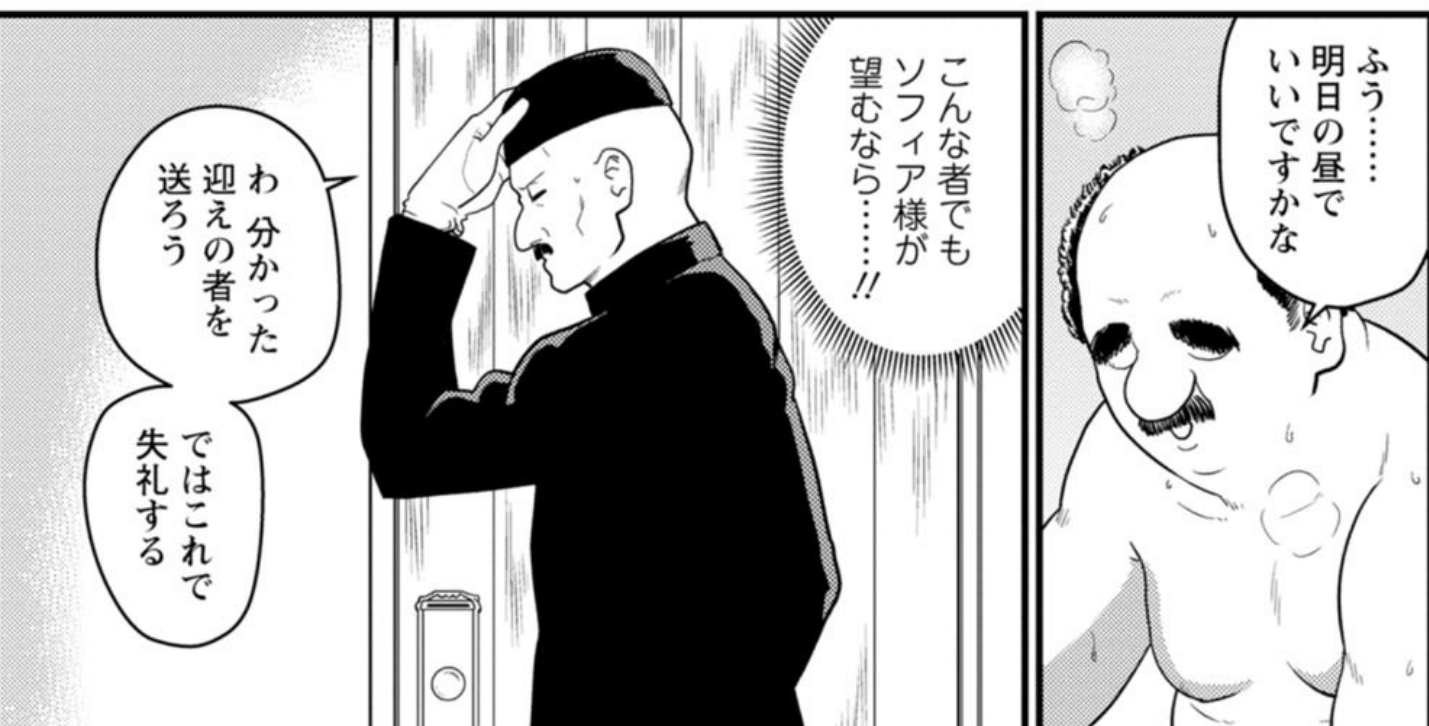
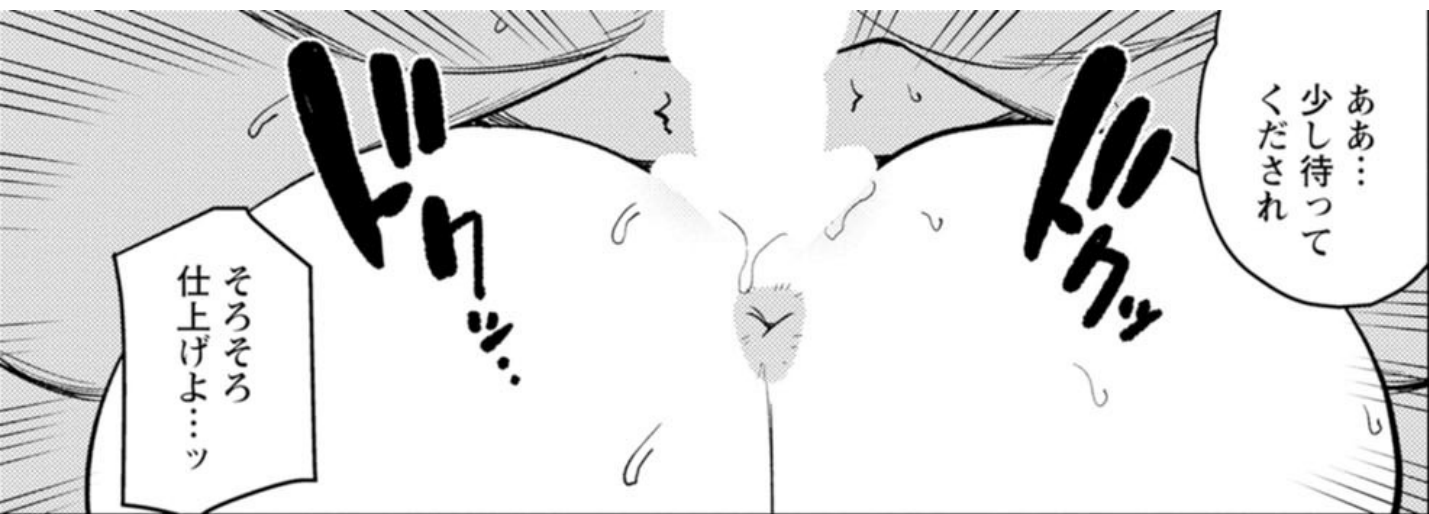


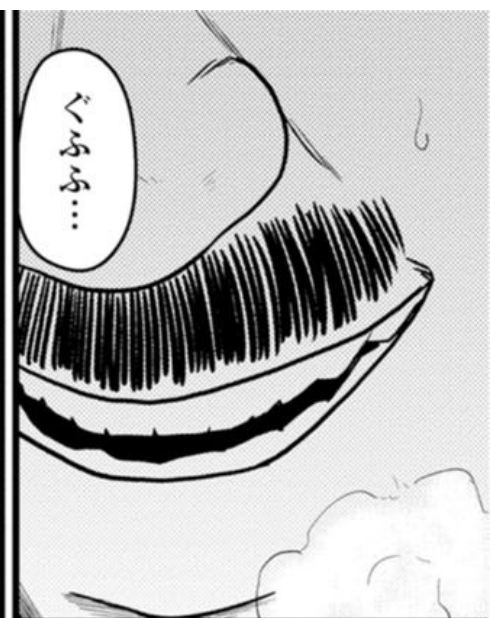




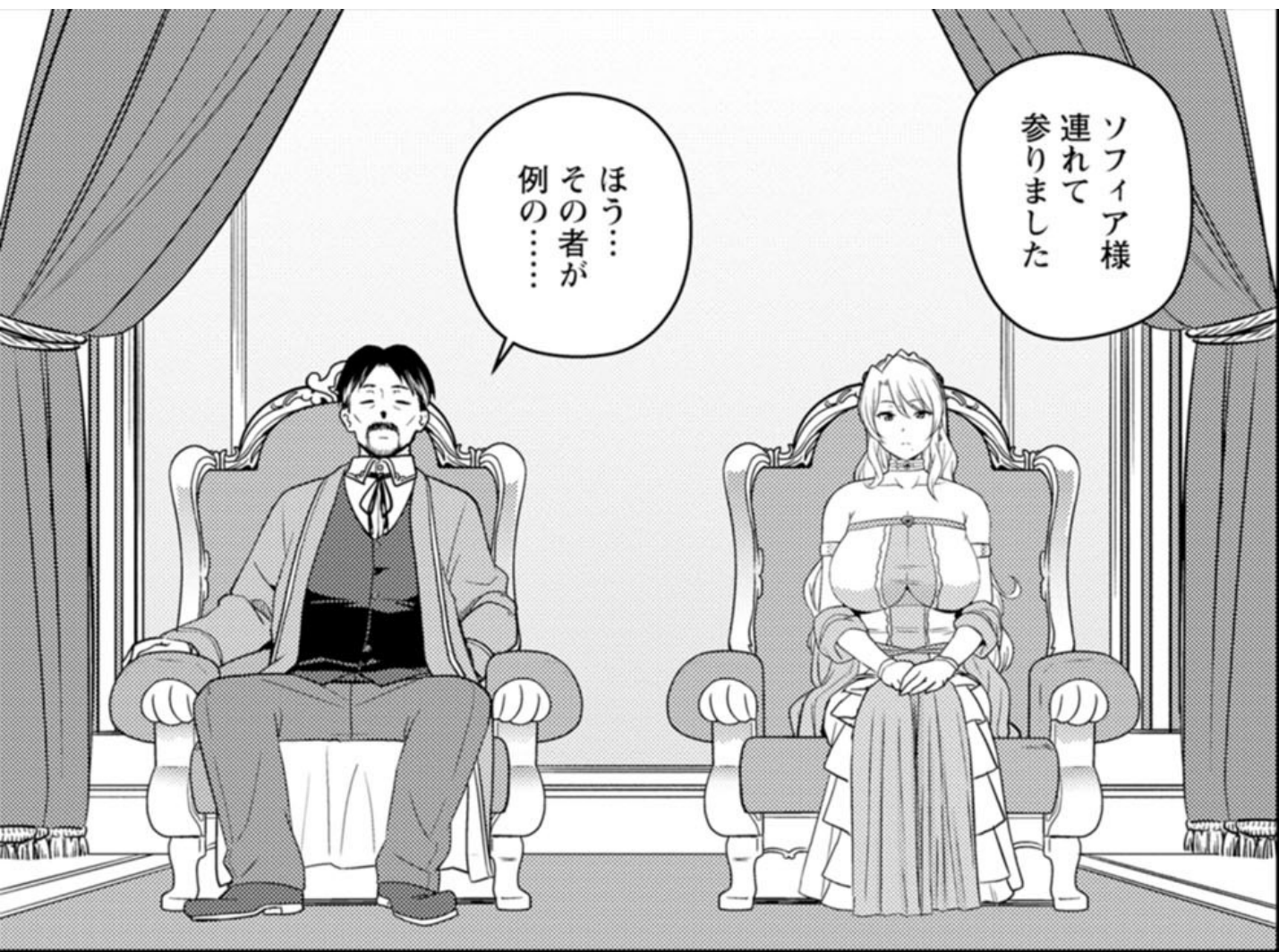












ソフィア様  
連れて  
参りました

ほう…  
その者が  
例の…



あれが女王  
ソフィア…



噂以上では  
ないか…!!



麗しきご尊顔を拝し  
恐悦至極に  
存じ奉ります

仕立て屋  
フロドール  
と申します

面を上げて  
ください

突然の呼び出しにも  
関わらず快く応じて  
くれたこと感謝します

ぜひとも  
貴方の扱う布で  
私の服を作って  
もらいたいです

はっ  
ありがたき  
お言葉

その噂の布は  
どのようなもの  
のですか？

は……こちらに

ここからは  
私のターン!!

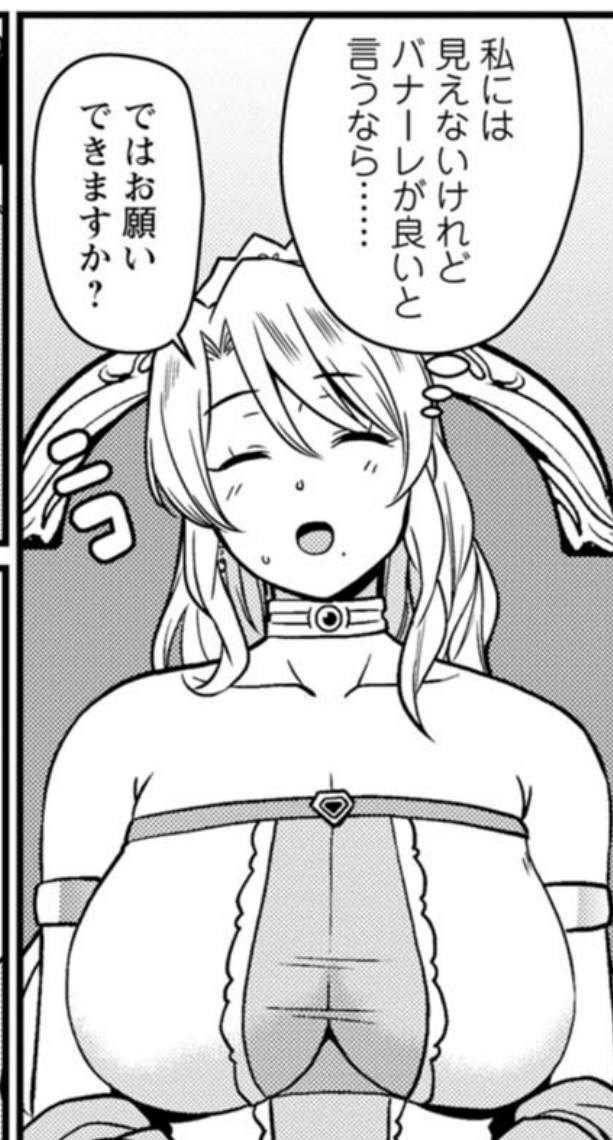
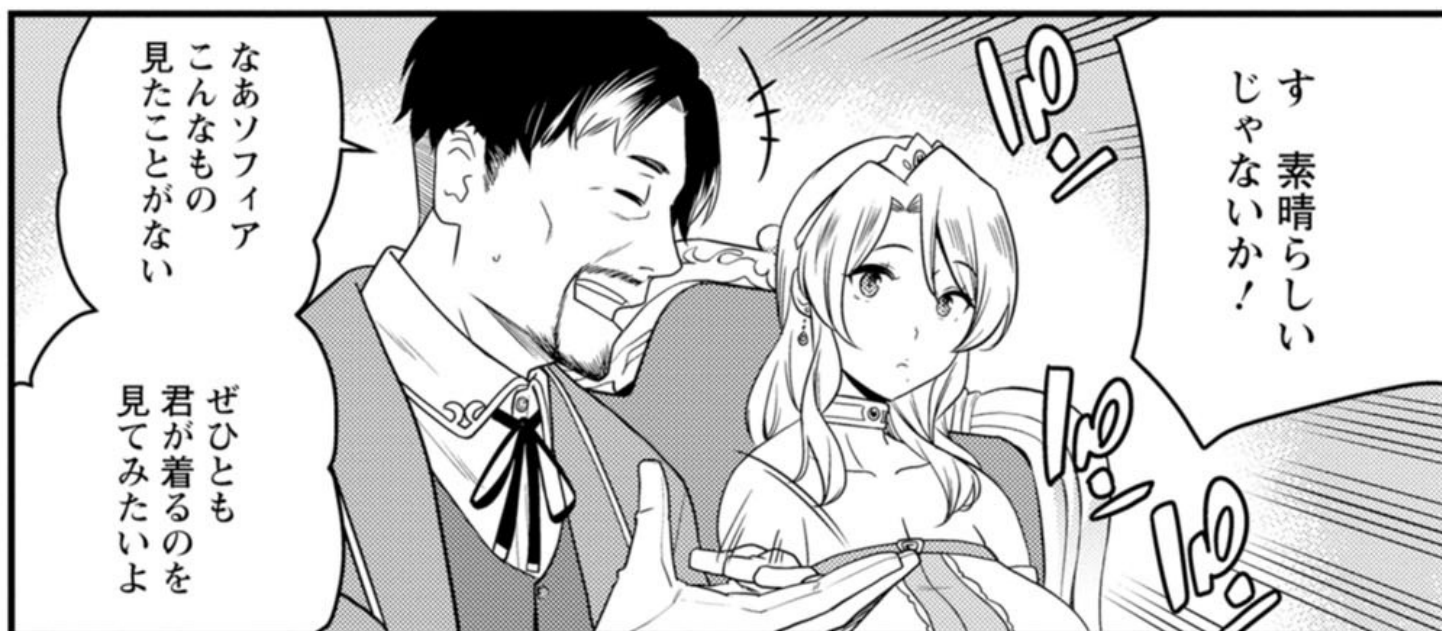
ハッ

!?

サッ  
ワッ











そろそろ  
お部屋に  
着きますよ

コッ

コッ

アッ



最高の服を  
つくるには  
細かな部分まで  
寸法を知る  
必要があります

それには  
独自の採寸を  
行うのです…

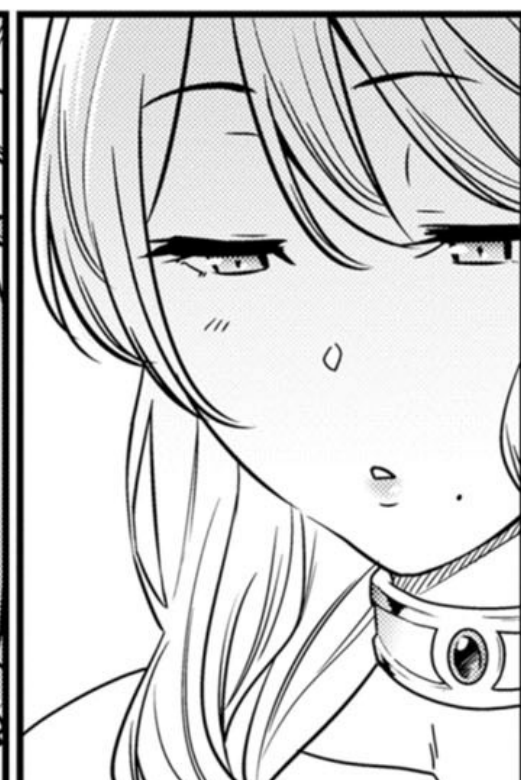


くふふ…  
まさかこんな  
すんなりいくとは  
思わなかったわ

ここまできたら  
後はこちらの  
もの…



今から  
この体を好きに  
出来るのだ…



おっとイカン  
今から勃って  
しまつては  
変に思われる

キッ

?

作業は  
泊り込みで  
やらせて  
もらいますぞ  
量が多いので  
最高の環境が  
必要です

もちろんです  
必要なものが  
あれば遠慮なく

お仕事道具は  
どうされますか？

お城のものも  
貸し出せますが

お構いなく

どうせ何も  
作らんからな

これが噂の  
馬鹿には見えない  
美しい服……

……ふええ……  
私馬鹿なんだ……

ここを自由に  
使ってください

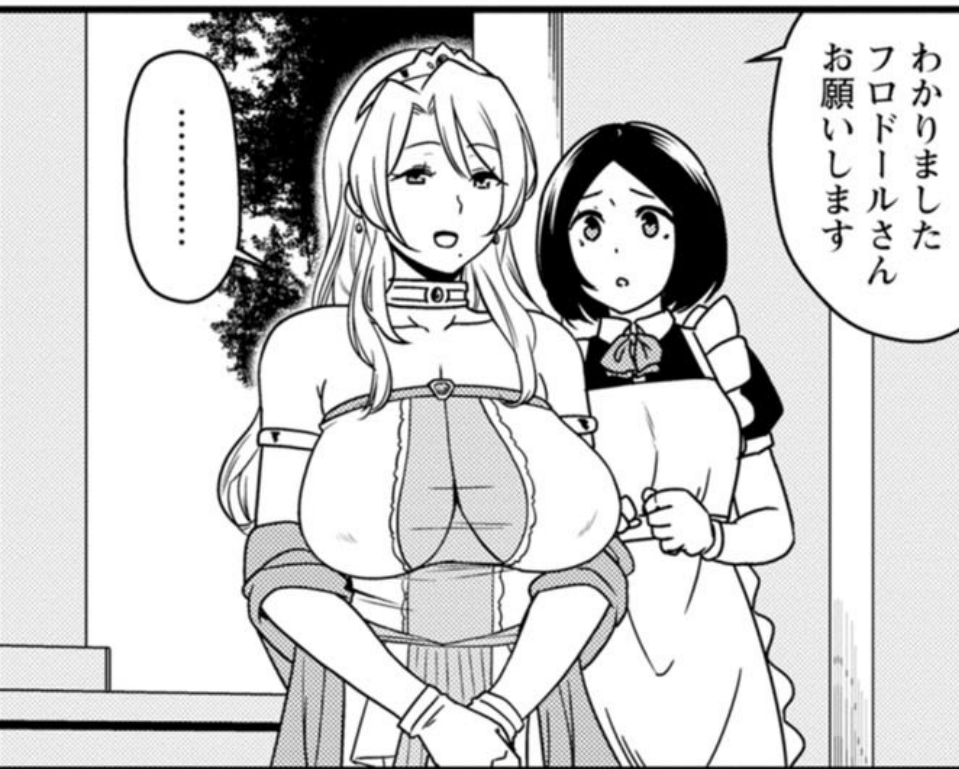
ここからは  
私とソフィア様  
だけにして  
もらえますかな

ふっ

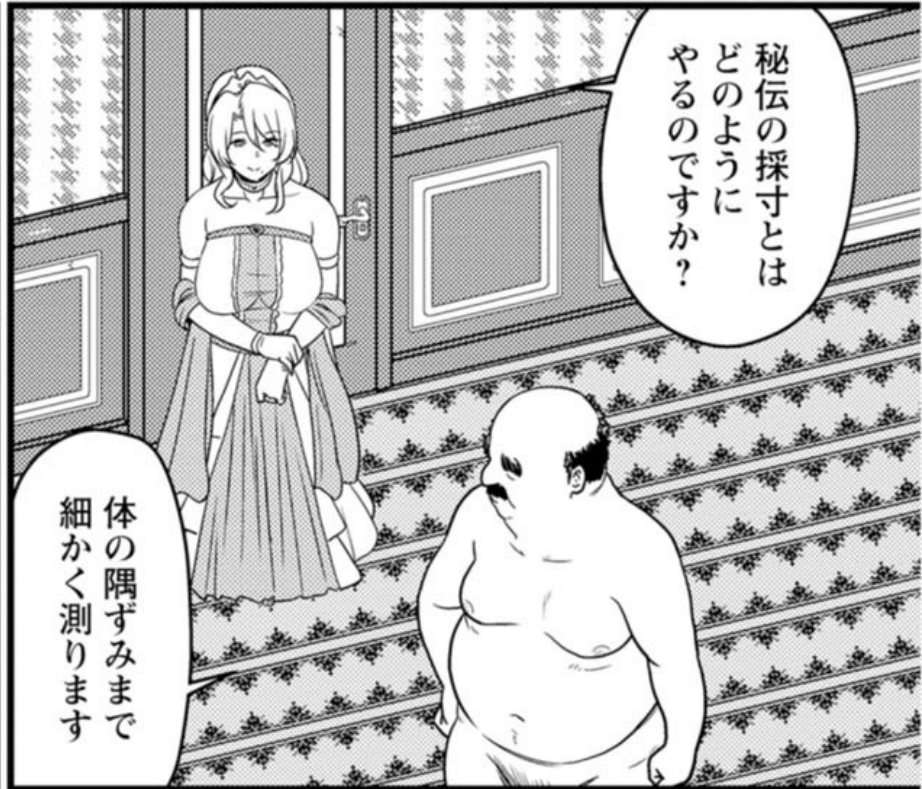
ふっ

ふっ





パン





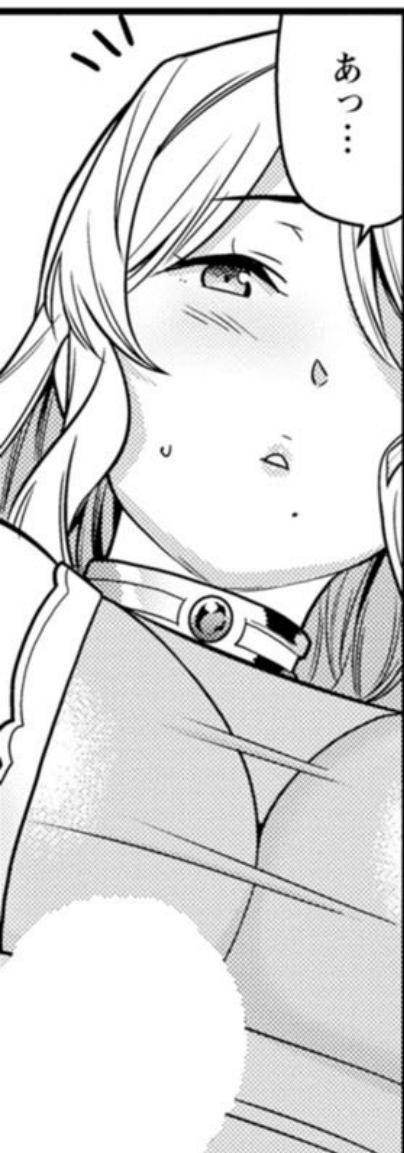


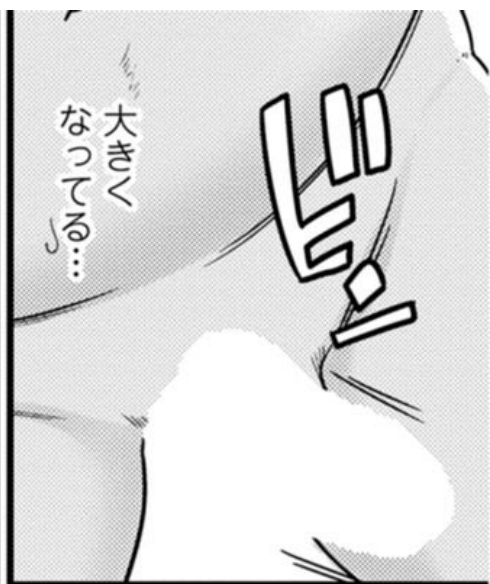
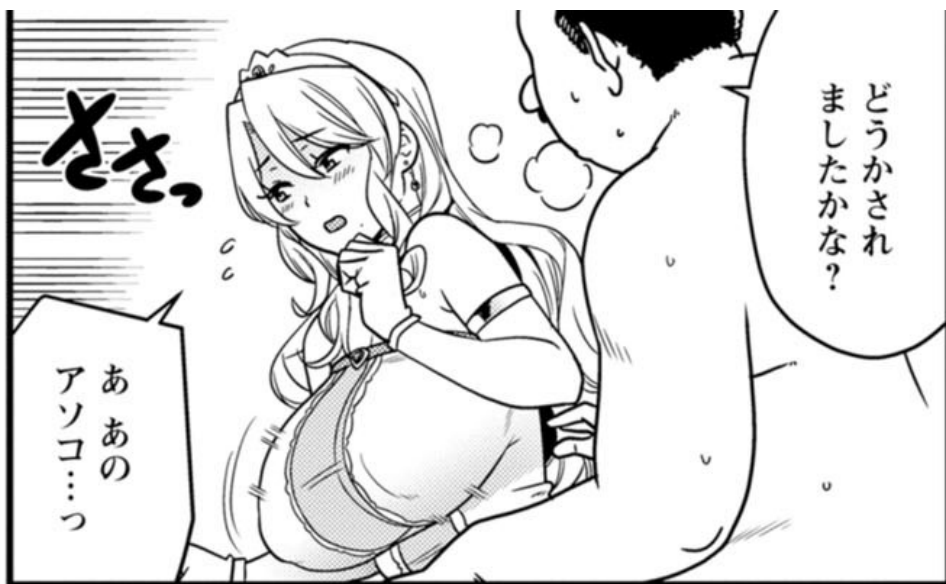
# 世界のエロ童話 裸の女王さま ～国民みんながヤレちゃう聖母～

---

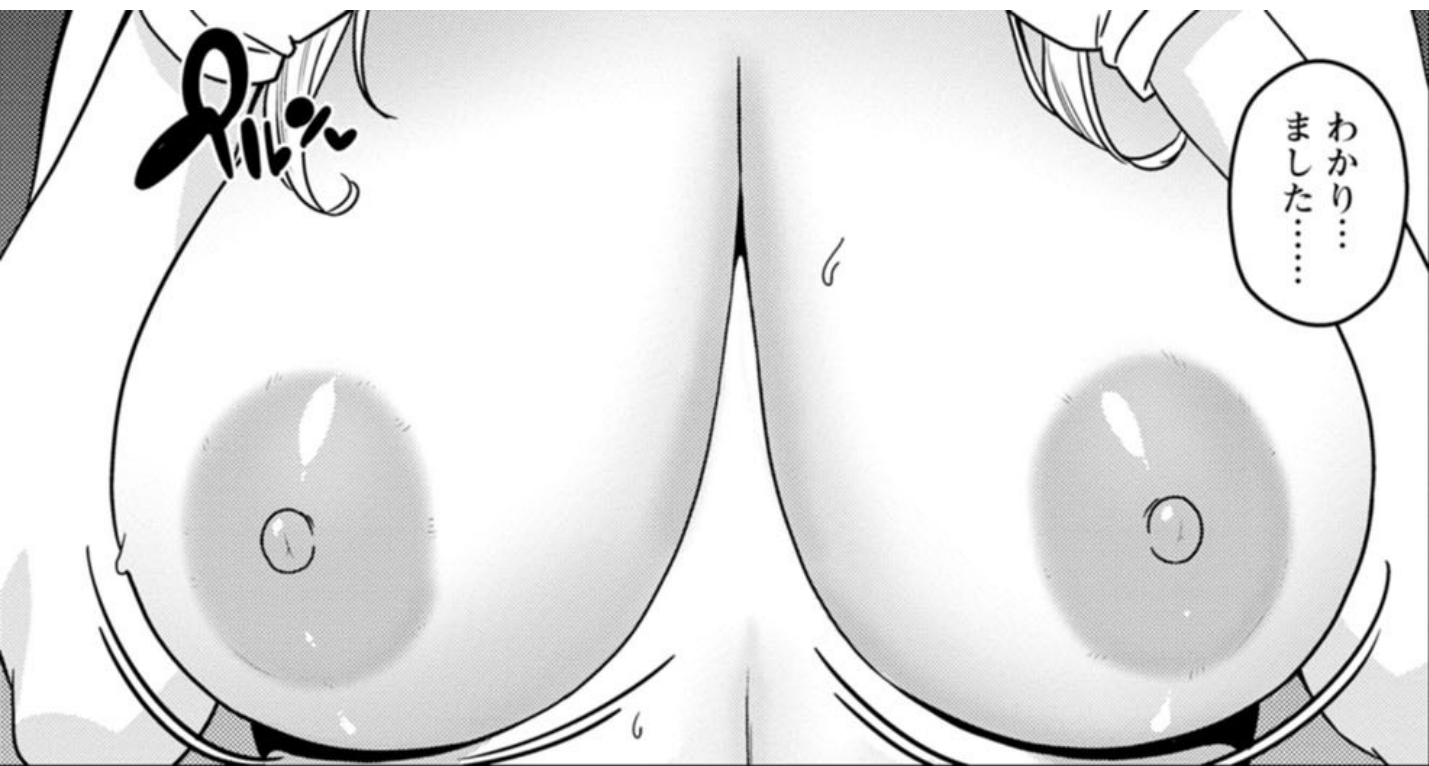
## 第2話









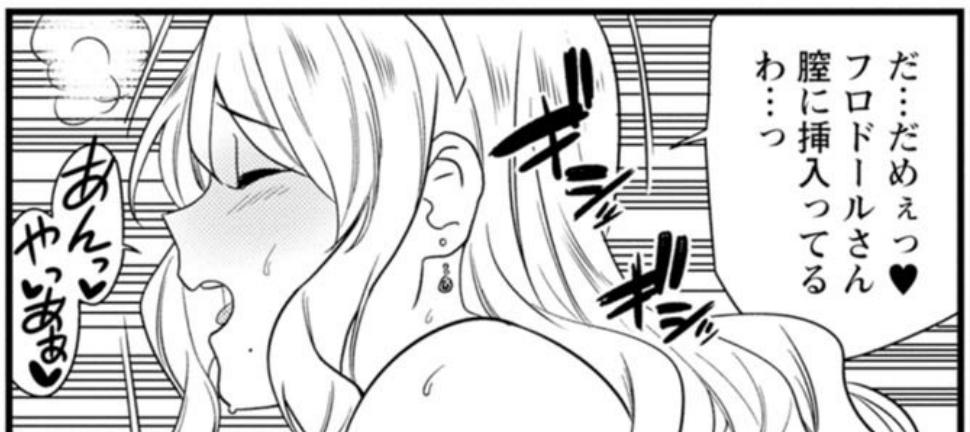




























そそんな広げたら  
恥ずかしいです…

いついかなるときも  
美しい状態を  
保つために  
色々な体勢を…

あっ♡



くふ…十回以上  
種付けてやったわ  
ワシの子が王位を  
継ぐかもしれんな

ご協力感謝  
しますぞ

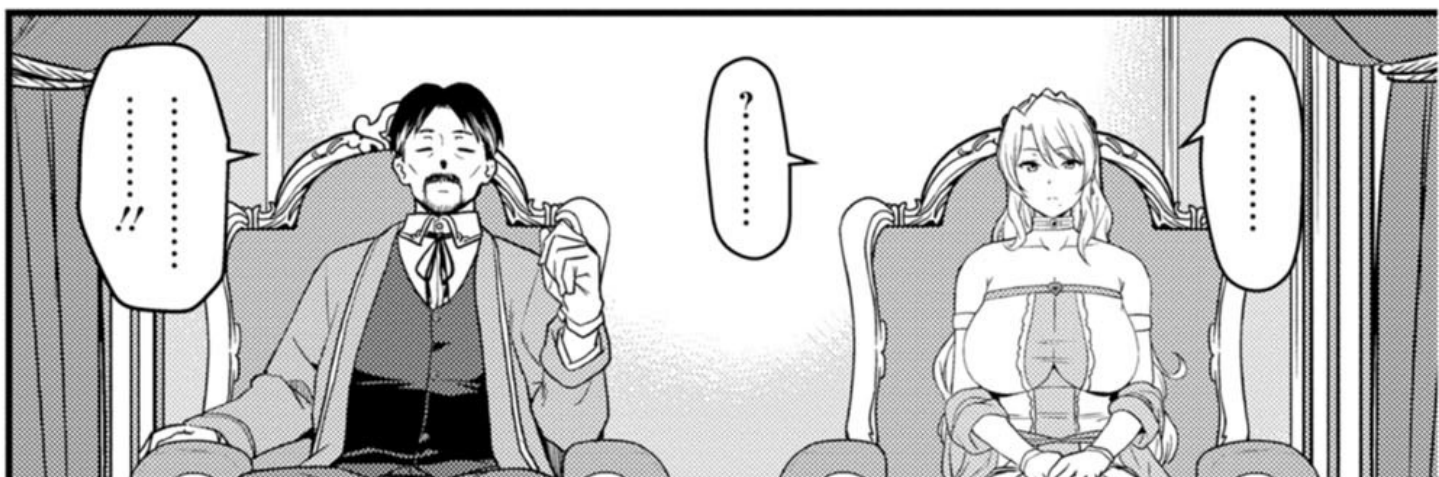


おっ…お…



すっかり  
夜も更けて  
しまいましたな













ソフィア様！

ソフィア様

ワァアアア

巷で噂の世にも珍しい  
馬鹿には見えないが  
とても美しい布の服を  
ソフィアのために  
作ってもらった

その筆舌に  
尽くしがたい  
美しさを皆にも  
見てもらいたく  
この場を用意した

またその布も  
買い求めやすく  
しようと思う

もう少し  
布を有名にして  
もらったら  
おさらばさせて  
もらうがね…

ささあソフィア  
皆に見せてごらん

え…ええ…

おおおお

あ







おお…  
なんと…

ソフイア様…  
ああ…

たまらん…



え…ええ

あつあのオレ  
少し馬鹿で  
よく見えないので  
もっと近くで  
見てもいいですか!?



うあああ…

ち近いっ…



ああっ…ダメ…  
私の大事なところを  
皆が見ている  
気がする…

恥ずかしさで  
死んでしまいそう…









もっと激しく…  
おお…

んっんっ



そろそろ  
違う味に  
なります…っ



これじゃただの  
フェラチオ…

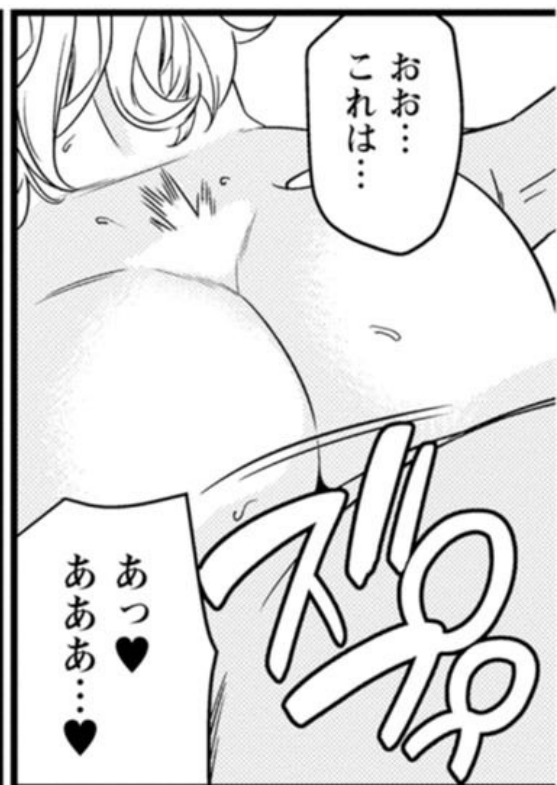
でも変なことしたら  
服が見えていないと  
疑われてしまう…

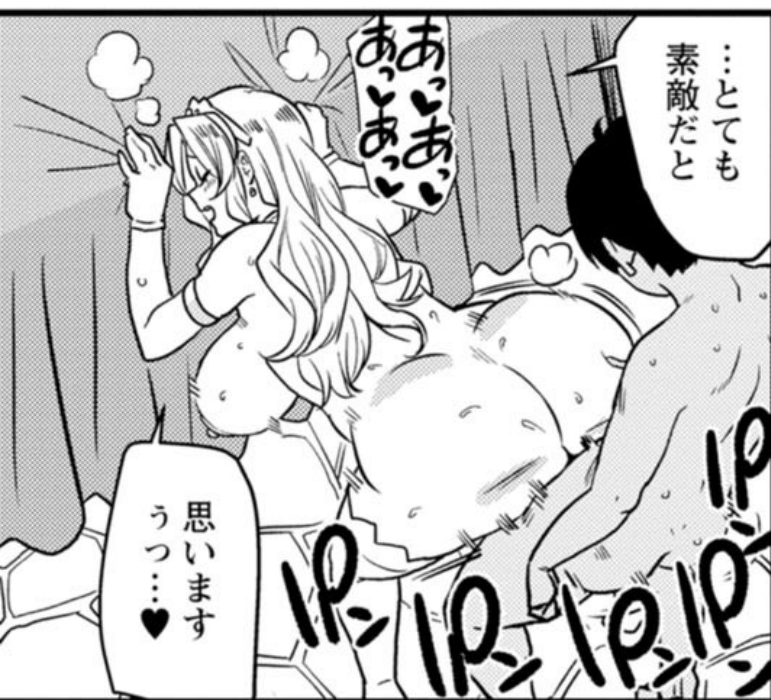


んっ…

んっ!?  
…んん…

















これを切っ掛けに  
夫婦の仲が元に戻り  
子を授かったこの国は  
小さいながらも幸せに  
なりました

そして裸の服が  
一般的な格好と  
なりました



おやお嬢さん  
服がポロポロ  
じゃないか

サササ



とても美しい  
布があるんだ

安く作って  
あげるよ



さてと…  
十分稼いだし  
次の街へ行こうか

*END*





**世界の工口童話 裸の女王さま  
～国民みんながヤレちゃう聖母～**

**安堂流**

© 安堂流／秋水社ORIGINAL